

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference P1632PCT	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below
International application No. PCT/JP2005/002568	International filing date (<i>day/month/year</i>) 18 February 2005 (18.02.2005)	Priority date (<i>day/month/year</i>) 19 February 2004 (19.02.2004)
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237		
Applicant AUTONETWORKS TECHNOLOGIES, LTD.		

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).																								
2.	This REPORT consists of a total of 6 sheets, including this cover sheet.																								
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.																								
3.	<p>This report contains indications relating to the following items:</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width: 40%;">Box No. I</td> <td style="width: 50%;">Basis of the report</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. II</td> <td>Priority</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. III</td> <td>Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. IV</td> <td>Lack of unity of invention</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. V</td> <td>Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. VI</td> <td>Certain documents cited</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. VII</td> <td>Certain defects in the international application</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. VIII</td> <td>Certain observations on the international application</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. I	Basis of the report	<input type="checkbox"/>	Box No. II	Priority	<input type="checkbox"/>	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. IV	Lack of unity of invention	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement	<input type="checkbox"/>	Box No. VI	Certain documents cited	<input type="checkbox"/>	Box No. VII	Certain defects in the international application	<input type="checkbox"/>	Box No. VIII	Certain observations on the international application
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. I	Basis of the report																							
<input type="checkbox"/>	Box No. II	Priority																							
<input type="checkbox"/>	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. IV	Lack of unity of invention																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement																							
<input type="checkbox"/>	Box No. VI	Certain documents cited																							
<input type="checkbox"/>	Box No. VII	Certain defects in the international application																							
<input type="checkbox"/>	Box No. VIII	Certain observations on the international application																							
4.	The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis .2).																								

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No. +41 22 338 82 70	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;">Date of issuance of this report 22 August 2006 (22.08.2006)</td> </tr> <tr> <td>Authorized officer Masashi Honda e-mail: pt08@wipo.int</td> </tr> </table>	Date of issuance of this report 22 August 2006 (22.08.2006)	Authorized officer Masashi Honda e-mail: pt08@wipo.int
Date of issuance of this report 22 August 2006 (22.08.2006)			
Authorized officer Masashi Honda e-mail: pt08@wipo.int			

特許協力条約

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

REC'D 09 JUN 2005
WIPO PCT

代理人 小谷 悦司 様
あて名 〒 530-0005 日本国大阪府大阪市北区中之島2丁目2番2号 ニチメンビル2階

PCT
国際調査機関の見解書
(法施行規則第40条の2)
[PCT規則43の2.1]

発送日
(日.月.年) 07.6.2005

出願人又は代理人 の書類記号 P1632PCT	今後の手続きについては、下記2を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2005/002568	国際出願日 (日.月.年) 18.02.2005
	優先日 (日.月.年) 19.02.2004
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ H01H85/20, B60R16/02, H01H85/50	
出願人 (氏名又は名称) 株式会社オートネットワーク技術研究所	

1. この見解書は次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 見解の基礎
- ☒ 第II欄 優先権
- ☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
- ☒ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日 19.05.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 井上 茂夫 電話番号 03-3581-1101 内線 3372

3X 3225

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第 I 欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

☐ この見解書は、_____ 語による翻訳文を基礎として作成した。
それは国際調査のために提出された PCT 規則 12.3 及び 23.1(b) にいう翻訳文の言語である。

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
以下に基づき見解書を作成した。

a. タイプ ☐ 配列表

☐ 配列表に関連するテーブル

b. フォーマット ☐ 書面

☐ コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれる

☐ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された

☐ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

3. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 補足意見：

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. 追加手数料納付の求め（様式PCT/ISA/206）に対して、出願人は、

☐ 追加手数料を納付した。

☐ 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。

☒ 追加手数料の納付はなかった。

2. ☐ 国際調査機関は、発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。

3. 国際調査機関は、PCT規則 13.1、13.2 及び 13.3 に規定する発明の単一性を次のように判断する。

☐ 満足する。

☒ 以下の理由により満足しない。

第IV欄の続きを参照。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この見解書を作成した。

☐ すべての部分

☒ 請求の範囲 1-3, 5 に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	2, 5	有
	請求の範囲	1, 3	無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-3, 5	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-3, 5	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明

文献1: J P 2002-262436 A (矢崎総業株式会社)
2002.09.13

文献2: J P 2004-40873 A (株式会社オートネットワーク技術
研究所、住友電装株式会社、住友電気工業株式会社)
2004.02.05

請求の範囲1, 3に係る発明は新規性及び進歩性を有しない。

請求の範囲1, 3に係る各発明は、国際調査で引用された文献1の第7ページ左
欄第33行-第9ページ右欄第16行及び図9-11に開示されている。

請求の範囲2, 5に係る各発明は進歩性を有しない。

国際調査で引用された文献1に開示されたヒューズモジュールは、入力用バスバ
ーの端部にヒューズ接続端子が形成され、入力用バスバーの端部がそのまま電源入
力用導体となっている点を除き、請求の範囲2, 5に係る各発明と差異がない。

そして、入力用バスバーの端部をそのまま電源入力用導体とする点は、文献2の
第4ページ第32行-第7ページ第26行及び図1-3に教示されている。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 IV 欄の続き

請求の範囲 2-3, 5-6, 8, 11, 13 及び 16 は独立請求の範囲 1 を引用しているから、請求の範囲 1-3, 5-6, 8, 11, 13 及び 16 に共通の事項は、独立請求の範囲 1 に記載された事項である。

しかしながら、当該共通事項は文献 JP 2002-262436 A (矢崎総業株式会社), 2002.09.13, 第 7 ページ左欄第 33 行-第 9 ページ右欄第 16 行及び図 9-11 に開示されているとおり、新規でないことが明らかである。結果として、当該事項は先行技術に対して行う貢献を明示していないから、PCT 規則 13.2 の第 2 文に記載されたとおり、当該事項は特別な技術的特徴ではない。

請求の範囲 4 は、請求の範囲 3 を引用しているから、請求の範囲 3-4 に共通の事項は、請求の範囲 3 に記載された事項である。

しかしながら、当該事項は、前記の請求の範囲 1-3, 5-6, 8, 11, 13 及び 16 での判断と同様、上記文献に開示されており、特別な技術的特徴ではない。

してみれば、以下に記載した 10 群の発明の間に、PCT 規則 13.2 に記載された技術的な関係を見いだすことはできないから、これらの発明は単一性の要件を満たしていないことが明らかである。

1. 請求の範囲 1
2. 請求の範囲 2
3. 請求の範囲 3
4. 請求の範囲 4
5. 請求の範囲 5
6. 請求の範囲 6-7
7. 請求の範囲 8-10
8. 請求の範囲 11-12
9. 請求の範囲 13-15
10. 請求の範囲 16

なお、請求の範囲 2-3, 5 に係る各発明は、主発明である請求の範囲 1 の調査を行うにあたり、まったく追加の調査を行うための努力を要しないものであった。